



足立区教育委員会では SDG s 教育を推進しています。

足立区立足立入谷小学校

取組 1 足立スタンダードに基づいた授業実践



課題解決の原理に基づき、適切な学習課題の設定から、思考段階（個から集団へ）を変化させつつ、試行錯誤を交えながら徐々に課題解決に向かう授業を全学級・全教科で目指す。必要に応じてOJTを行いながら、経験者も若手も課題解決学習の指導方法を身に付けていく。

取組 2 主体的・対話的で深い学びの実践に向けた教育活動



学習を主体的にするには、必然性のある学習課題が必須である。そのために、日常的に児童の疑問や感動などを捉え、教科の指導計画と連動させながら授業を構築していく。さらに、ICTリテラシーを向上させつつ児童が自ら探究する授業を多く取り入れる。

取組 3 人権教育・特別支援教育の充実



「人が大切なことは自分も大切にする」を基本理念であると理解して、すべての教育活動の中に人権教育の要素を取り入れていく。



「特別支援教育≠特別な子への教育」と捉え、全ての児童が理解しやすく快適な学校生活を送れるように、靴箱や教室ロッカーの整理整頓などをはじめ、言語環境や教室環境を整える。

取組 4 オリンピック・パラリンピック教育のレガシー



3年連続のオリパラアワード校として、「どの学校でもできるレガシー」を大切にしてこれまでの取組を重視する。中でもオリパラタイム、持久走月間、なわとび月間、外部講師による運動能力向上授業などは継続する。